

りゅうおう

議会だより

No.192

2020年7月15日
滋賀県竜王町議会

待ちに待った
給食再開

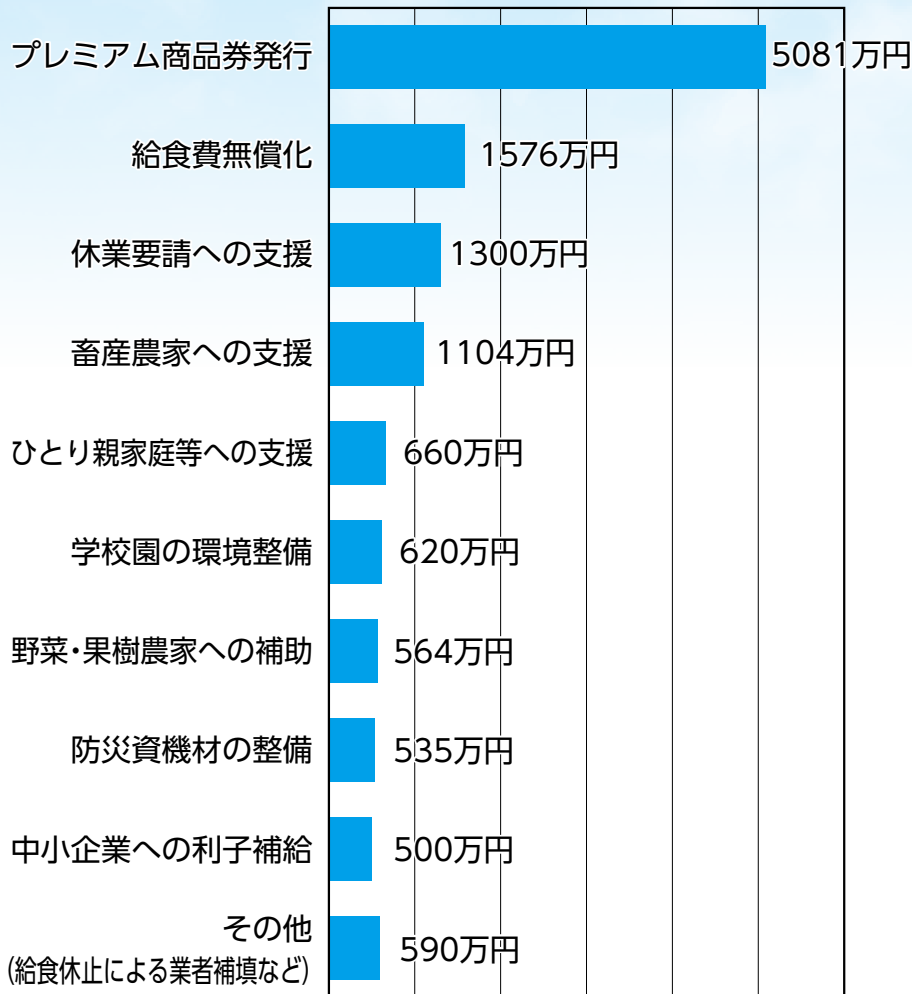


- | | | |
|-------|-----|---------------|
| 定例会報告 | P2～ | 第1次 新型コロナ関連予算 |
| 委員会報告 | P5～ | 感染症対策の状況は |
| 一般質問 | P7～ | 高齢者の介護予防は |
| 追 跡 | P11 | 直売所拡張工事始まる |
| シリーズ | P12 | 私たちONE TEAM |

新型コロナウイルス感染症関連

第1次 町の独自施策として

1億2530万円の補正予算を可決



令和2年5月定例会を5月13日から6月2日までの21日間の会期で開催し補正予算5件、条例関係12件、人事案件16件、その他1案件を原案どおり承認・可決・同意しました。

中でも新型コロナウイルス感染症に対する竜王町独自の施策として、プレミアム商品券発行、給食費の無償化、休業要請に対する事業者への支援、畜産農家や野菜・果樹農家への

支援、学校園の環境整備など1億2530万円の補正予算が提案され、議員全員で慎重に審議した結果、全員賛成で可決しました。

補正予算に対する町の声

- ・夏野菜の出荷が多くなる時期に直売所の手数料軽減はとても嬉しい。(80代 男性)
- ・現金給付とプレミアム商品券では前者の方が補助として有効なのは。(70代 男性)
- ・ひとり親で休校中は子ども達と過ごしました。どんな時も責任を背負うことになり毎日が綱渡り状態です。支援金や給食費無償化をととてもありがたく思っています。(40代 女性)
- ・プレミアム商品券は助かるが使用店舗が限定されているのはちょっと残念。(40代 女性)
- ・6月以降も大きく影響すると予想する事業者もあるので支援をして欲しい。(50代 男性)

プレミアム商品券発行



町内で使用できる2万円分の商品券を1万円で購入できる引換券を配布する。(7月中旬)

- 問** 町内に本社がある店舗で使
用できるようにしては。
- 答** 町内に本社を置く、法人・
個人事業所で使用できるよ
うにする。

給食費無償化



保育園・幼稚園・小学校・中
学校の6月から8月までの給
食費の無償化を行う。

休業要請への支援



滋賀県の休業要請に協力した
事業者に対し、中小企業は20
万円、個人事業主は10万円の
支援金を町独自で上乗せ。

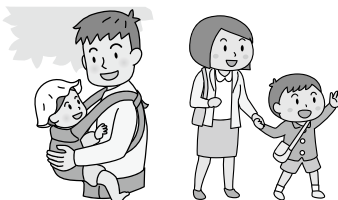
畜産農家への支援



牛肉価格の下落に伴い、標準
販売額の下落分の一部を補て
んする。また素牛購入1頭に
つき10万円の支援(上限あり)。

- 問** 近江牛の大規模農家の年間
導入数は。
- 答** 900頭程度である。

ひとり親家庭等への支援



高校生まで(0歳~18歳)の
子を持つひとり親家庭等に対
して、子ども1人につき6万
円の補助。

- 問** 支援給付を早期に通知でき
ないか。
- 答** 早い段階で手続きできるよ
う取り組む。

学校園の環境整備



学校園に非接触型体温計(77
個)、空気清浄機(61台)の
設置等。

- 問** 非接触型体温計を1個から
でも早期に購入する考えは。
- 答** 1個からでも早期に購入し
たい。空気清浄機は一括購
入できる。

野菜・果樹農家への補助



6月から9月までの直売所での
販売手数料の軽減。

- 問** 10月以降の支援は。
- 答** 10月以降は従来から需要
の多い野菜の出荷・販売に
対する支援がある。

防災資機材の整備



マスク36,150枚、消毒液130
リットルの備蓄や避難所感染
対策用の間仕切り等の購入。

- 問** 資材の納期はいつごろか。
- 答** マスク・消毒液は1か月、間
仕切りは2週間かかる。防護
服の納期は10月頃になる。

中小企業への利子補給



セーフティネット資金の融資
を受けた事業者に対し、利子
の1.0%、年間の上限額20万
円で3年間借入の利子補給を
する。

その他の議決内容

町道舗装改良工事 3950万円

工事期間は10月～12月（予定）

問 修繕内容は。

答 アスファルト舗装を10センチ切削し、その下をセメント改良、舗装完了後、区画線の復旧を行う。



町道竜王近江八幡八日市線（雪野山大橋付近）

竜王西小学校敷地他調査業務委託料 85万円

学童保育所の建設に向けて、竜王西小学校とコスモス保育園周辺の公図の状況調査を行う。



竜王西小学校周辺

令和2年秋頃からデマンド型交通の実証運行を開始

竜王MaaS※（マース）協議会 設立

令和2年度予算 1265万円

トヨタ・モビリティ基金 754万円

県負担金 434万円

町負担金 77万円

問 停留所の数は。

答 自宅から100m以内に設置するため、約150か所必要となる。実証運行期間で利用状況を確認して調整したい。

※MaaS（マース）とは、「Mobility as a Service」の略称で様々な交通手段を使い、目的地までの移動手段をより快適により便利にすることが出来るサービスです。



協議会設立総会の様子



デマンドタクシーのイメージ

総務産業建設常任委員会



新型コロナウイルス感染症対策の状況について

1 総務部門の取組

- 役場での時差出勤、在宅勤務、分散勤務を実施。
- 「くらし・経済対策チーム」また、住民対応として総合窓口を設置。
- 既存または予定される業務の延期、中止等の整理を行った。
- 今後は「**新しい生活様式**」を取り入れた活動方法について住民に周知する。



新しい生活様式とは

例えば…

①一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本

身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い



間隔を空けて座る様子

③日常生活の各場面別の生活様式

買い物は通販や電子決済の利用など

2 産業建設部門の取組

①町内中小企業への救済措置（5/19時点）

- ・ 県制度「セーフティネット資金」利子補給の認定 43社
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止臨時支援金 65件見込みのうち21件受付

②町内企業への支援

町ホームページ内に「コロナに負けるな！町内飲食店応援キャンペーン」と題して、テイクアウト可能店舗を掲載。

③町独自の農家への支援

- ・ 魅力ある農業の創生事業に564万8千円
- ・ 畜産農家への支援に1104万円
- ・ 休業要請に協力された観光農園は県の支援金10万円の上乗せ給付の対象となった。



特別定額給付金の申請窓口を設置して対応した

②日常生活を営む上での基本的な生活様式

外出控え、三密（密集・密接・密閉）回避、換気、咳エチケット、手洗い



30分に1回は換気を

④働き方の新しいスタイル

テレワークや時差出勤の実施など

主な質疑応答

問 商工会に入っていない農業者にもプレミアム商品券を使ってもらえるような対応は。

答 商工会に対して会員以外にも積極的に呼びかけてもらえるように指導する。



教育民生常任委員会



新型コロナウイルス感染症対策の状況について

1 教育委員会の取組

新型コロナウイルス対策会議の実施

4月1日～5月15日の間、22回の対策会議において状況の共有、対応の協議、今後の方針を決定。

6月以降の取組

- ・6～8月分の給食費を無償化。
(対象：保育園、幼稚園、小・中学校)
- ・各クラスに非接触型体温計と空気清浄機を配備。
- ・水泳、プールでの学習は今年度中止。
- ・運動会、体育祭の開催は検討中。



分散登校時の授業風景



対策会議で検討を重ねる

主な質疑応答

問 授業時間の短縮等を実施すれば、詰め込み教育になるのではないか。また学習の遅れが出る子ども達への対応は。

答 授業内容や行事の開催について検討し、授業時間を確保する。また、必要に応じて支援員やアドバイザーの協力を得て、個別指導の対応を丁寧にしたい。

2 住民福祉部門の取組

感染予防・健康づくりの取組

- ・感染予防対策についてホームページ等で啓発。
- ・毎日15時にラジオ体操の有線放送を実施。
- ・自宅でもできる運動についての掲載チラシを配布。
- ・町へ寄贈されたマスクを妊産婦へ配布。

高齢者福祉分野の対応

- ・65歳以上の1人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者世帯へ寄贈マスクを配布。
- ・介護事業所の感染防止対応を確認・指導。
- ・生涯現役事業、認知症カフェ事業は6月から感染予防対策のもと開催予定。



広報6月号では健康推進員が「ながら運動」を紹介

主な質疑応答

問 介護サービスの利用が2～3割減った事業所があると聞かぬか。

答 事業所へマスクを配布する時、また、職員が来庁された時に経営状況の確認を行っている。国保連合会からのデータでは、直近の数か月においては事業所のサービス給付状況が急激に下落していることはない認識している。

町政 ここを問う!

5月定例会では7議員が
7問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
8	鎌田勝治議員	行政施策の見える化は
	尾川幸左衛門議員	西横関水源の再構築は
9	森島芳男議員	新型コロナウイルス感染が再拡大した場合の対策は
	貴多正幸議員	高齢者の介護予防は
10	大前セツ子議員	学校再開に向けた暑さ対策は
	橘せつ子議員	新型コロナウイルス感染症対応は
11	中村匡希議員	幼稚園、小・中学校再開に伴う保護者不安へのケアは

一般質問って？

町の行政全般について
議員が町長をはじめとして
担当部局に疑問点を質したり、
見解などを尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸

次回の一般質問は 令和2年9月18日(金)の予定です

令和2年第2回定例会に引続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合があります。

傍聴案内については事前に町ホームページでご確認ください。

なお、本会議の様子は有線放送にて中継でお送りしています。受話器を上げて75番を押してご利用ください。チャンネル放送停止は70番です。

ご理解ご協力をよろしくお願いします。



問 議会事務局 電話 0748-58-3713

問 行政施策の見える化は

答 タイムリーな情報掲載に努める



鎌田 勝治 議員



「明るく元気で活力あふれる強いまち電王町」「次世代に誇れる電王町」の実現に向けて電王町では、緊急的に取り組むべき課題、優先的に取り組むべき課題を整理し、重点プロジェクトとして位置付け、複数の課がアイデアを持ち寄り、さまざまな角度から検討し、計画を立て実行する機動的なチームをつくり、課題解決に向けて進めています。

重点プロジェクト掲載ページから抜粋

問 町行政を執行する責任において、透明性の高い行政執行をすべきと考えるが次の2点を伺う。

① H P（ホームページ）の重点施策プロジェクトについて具体的な計画内容とその進捗を明記していない理由は。

② 重点施策でありながらその進捗が分からない掲載方法と1年以上も更新されない現状の情報公開のあり方は。

答 ① 重点施策プロジェクトは、平成29年度から緊急的・優先的に取り組む課題を整理し、取り組んでいるが、その情報公開ツールとして、平成30年度からH Pに概要を掲載してきた。ページの更新については見落としが原因であり、進捗状況や新しい年度の内容を掲載すべきであったと考える。

② 重点施策は、その内容および進捗状況を毎年度確認し、広く町民に広報すべきと認識している。今後は、タイムリーな情報をわかりやすく工夫してH Pや広報紙に掲載することに加え、新聞、テレビなどでも取り上げてもらえるよう積極的な情報発信を行い、町民に関心を持っていただけるように努める。



尾川 幸左衛門 議員

問 西横関水源の再構築は

答 上期を目途に方向性を出す



国道8号



西横関水源

問 緊急水の確保として災害応援協定事業所の水道施設はレベル2地震動対応なのか。また、水量が確保できることを検証しているのか。さらに、災害時は自己水源で対応する考え方で、休止しているが認可を得ている西横関水源についてなぜ早急に再構築し、町民に安心を与えてくれないのか町の考え方を伺う。

西横関水源の再構築については本町水道事業ビジョンにおいて、当面の間、整備を行わないこととしているが、災害時に備えて多系統による水の確保に備えておくことは重要であると考えているため、上期を目途に方向性を見出す。

地震動対応ではないが、可能な範囲での支援をお願いしている。また、応急給水量は配水池の貯水量で1週間程度は確保できている。



森島 芳男 議員

問 新型コロナウイルス感染が再拡大した場合の対策は

答 必要資材の早期確保に努める



備蓄資材の確保が進められる

問 新型コロナウイルス感染症にかかる「緊急事態宣言」が5月14日に解除された。感染状況等が抑制された状態でも、冬期には、再び猛威を振るうのではないかと懸念され、またインフルエンザの流行時期でもあり、今から、町民・学校・園に対して対策の準備が必要であると考えざるを得ない。町民の皆さまには、

答 冬期には、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行が重なることも想定されることから、町民の皆さまには、

インフルエンザに対する対策として、予防接種を受けていただくよう啓発をする。今後の感染拡大に備えて、マスク・消毒液などの必要な資材の早期確保に努めている。6月から学校・園を全面再開するところだが、基本的な感染症対策である手洗い・うがい・マスクの着用と三密をさけるなど、基本的な集団感染へのリスク対応に努める。正しい知識や感染症予防に対する指導を継続して行うため、「学校だより」や「保健だより」などを通じて保護者の方への啓発に努める。



貴多 正幸 議員

問 高齢者の介護予防は

答 町の状況にあった取組を検討する



生涯現役事業
思い出めぐり（回想法講座）

問 要介護認定者数が増え、サービス利用が増えたことから、結果として介護保険料が増額傾向にあるのは致し方ないと考えますが、一方で、要介護状態とならない高齢者を増やす介護予防施策が重要であると考えます。

答 介護予防の第一義的な目的は、介護となる要因に働きかけ、介護が必要となる時期を遅らせる事であり、このことは要

介護状態となった場合においても可能な限り住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができることにつながると考える。このため、通いの場への参加をはじめとして、人との交流が認知症予防や歩行能力の維持などにつながるため、今後も通いの場の開催支援を介護予防の取組の軸として考えている。現在、第8期介護保険事業計画の策定に向け、昨年度に実施した日常生活圏域ニーズ調査の結果を分析し、町の状況にあった介護予防の取組を検討している。

問 学校再開に向けた暑さ対策は

答 子どもの安心・安全に配慮する



大前 セツ子 議員



マスクをしながら下校する児童たち

問 感染予防に配慮して学校が再開された。そんな中、小学1年生をはじめ子どもたちが暑い中、マスクを着用しながら水分補給のために重い水筒を持って徒歩で登下校することは体力的に負担が大きいと思う。そのリスク緩和に向けた対策は。

答 高学年の児童には小学1年生の状況を理解し、寄り添ってもらうことで心と身体の負担を軽減できる対応をしており、保護者の方にも登下校への配慮について協力を依頼している。

文部科学省からの通知で携行品に係る配慮として「おき勉」が認められており、児童生徒の身体への負担軽減に努めている。

これから迎える暑さ対策として水分補給は最も必要なことで保護者の方も心配されている。学校としても、防災用に備蓄している飲料水の活用を考えている。さらに各教室のエアコンを有効活用することや保健室での柔軟な対応ができる体制づくりをするなど安全・安心な整備に努める。

問 新型コロナウイルス感染症対応は

答 暮らし・経済対策チームを中心に対応する



橋 セツ子 議員

② 国の制度の考え方に柔軟に対応していく。

① 現時点では「暮らし・経済対策チーム」を設置し、その中に特別定額給付金を担当するグループと子育て世帯への臨時特別給付金を担当するグループを置き対応している。当面新しい課は設置せず、このチームを中心に柔軟に対応していく。

問 新型コロナウイルス対策で次の点を伺う。
①今後独自対策など様々な課題に対し、新たな課を設置するなどの考えは。
②子育て世帯への臨時特別給付金が支給されない所得制限限度額以上の世帯や16～18歳の全ての子ども達に特別支援金を給付するなどの考えは。
③県の感染拡大防止臨時支援金の支給対象外の事業者への支援について町の考えは。
④上下水道料金の免除について町の見解は。



特別定額給付金申請書の発送作業

準じて高所得世帯への給付は考えていない。町独自対策で16～18歳の子どもを対象としたひとり親家庭への支援を実施していく。

③ 支援対象外となる事業所があることは承知しているが、支援金申請受付から給付までが県制度に基づき一元的に行われるため対象としない。国の持続化給付金の利用を案内している。

④ 上下水道料金の免除については、町は補填する財源の目途がないため実施しない。支払い困難な方には納付期限を延長する対策を講じている。



中村 匡希 議員

問 幼稚園、小・中学校再開に伴う 保護者不安へのケアは

答 ご意見や不安に応えていきたい



レンタル携帯による電話相談（竜王小学校）

- 問** 幼稚園、小・中学校が再開となり、保護者の中には不安を口にする人もある。そこで次の点について伺う。
- ① 保護者の相談窓口を一元的に設けてはどうか。
 - ② 出席停止の意味は。また成績への反映は。
 - ③ 出席停止の場合の学習支援は。
- 答**
- ① 4月24日付で、保護者の不安や悩みは教育委員会、子どもの学習については各校園へと案内した。
 - ② 出席停止は、今回の場合、学校保健安全法に基づくもので、欠席扱いにならず、進級や進学にあたって不利になることはない。
 - ③ 出席停止の学習支援については、家庭訪問・電話やメールなどを活用して児童生徒の状況を把握しつつ、可能な範囲で放課後の個別登校などを実施し、個別に学習のポイントを絞った支援を行うことに努める。



追跡!! あの問題はその後、どうなった??



議員の質問に、町がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。

重点道の駅の課題解決は

平成29年12月定例会 一般質問より

問 道の駅アグリパーク竜王の直売所拡張計画の進展は。

答 平成30年度から取り組み予定であるが、国の交付金の活用を前提として進めていく。交付金の活用に当たっては、本町全体の活性化計画の策定が求められるので、内容検討を行い、活性化に向けた施設の拡充を図る。

その後の動き

平成31年2月に竜王南部地区活性化計画を策定。

【実施設計】

令和元年7月24日～
令和元年10月30日

【建設工事】

令和2年3月6日に
工事着工し、令和3年3月19日に完了の
予定。

【拡張面積】

2022㎡



工事に着手した直売所



私たちがONE TEAM

竜王町マスクボランティア有志
No.03

私たちにできることを ～マスク製作で広がる支援の輪～

新型コロナウイルスが世界中に広がり、感染症対策がテレビなどで流れる中、「どこのお店に行ってもマスクが無い」という悲壮な声が聞こえるようになりました。非常事態宣言が発令され、外出自粛生活の間に私たちが出来ることは何かと考えた時、マスクを製作して町に寄贈し、必要とされている方に届けようと公民館を拠点に活動されている女性たちに声をかけをしました。もちろん三密を避けるために活動場所は各自の家庭です。「ミシンは使えないけれど、手縫いなら出来る!」とこころよく協力して下さった方もあり、ありがたいことに短期間で合計1,134枚のマスクが仕上がり、学校・園などに配布されたと聞いています。

自粛期間をただじっと待っているのではなく、自分たちの出来ることを前向きに行動して



5月1日、町へ手作りマスクを寄贈された

下さる仲間がこれほど多くいて下さることに感動するとともに、1人ではできないことも仲間と意識を合わせると、大きな力で活動できることを心から嬉しく思います。またその中で、今回たくさんの「はぎれ」や「ゴム」を提供してくださった多くの方々に感謝申し上げます。



6月から再開された給食ではグループ毎に呼ばれた児童たちが手指の消毒をして整列し、順番に先生から給食をもらいます。また、配膳のための職員数を確保するため、配膳は学年毎に時間差で行われていました。感染症対策のルールは大変ですが、久しぶりの給食に児童たちのマスクの下では静かな笑顔が見られました。

表紙

ルールがあっても楽しい給食

編集後記

子ども達は外出自粛の日々を過ごし、親子共々不安と戸惑いの中での毎日だったことでしょうが、今、ルールを守りながらも毎日元気に登校しています。子ども達の声が聞こえることで私たちも笑顔と頑張る力をもらっています。

5月定例会ではプレミアム商品券発行など町独自の第一次新型コロナウイルス関連予算を審議し可決しました。未知のウイルスとの戦いであり、すぐに元の生活に戻るとは思えない状況ですが、議会といたしましても精一杯役割を果たしていきます。

まだまだ油断はできませんが、引き続き、新しい生活様式を実践しながら感染予防に努めてくださいますようお願いいたします。

6月14日投票された町長選挙では西田秀治氏が再選されました。これまでの4年間で進めてこられた「次世代に誇れるまちづくり」のために引き続き町民の皆さんと一緒に力を注いでいたいただきたいと思っています。

大前記

議会広報特別委員会

委員長	中村 匡希
副委員長	大前セツ子
委員	福田 優三
委員	橘 せつ子
委員	岡山 富男
委員	小西 久次



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています